



日本赤十字社

# 有功やまぐち

第3号

2015年4月発行

## 会長挨拶

山口県日赤紺綬有功会 会長

平岡 英雄

(株式会社西京銀行頭取)



会員の皆様には、平素から当会の運営につきまして格別のご理解とご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

お陰をもちまして、当会は、赤十字の支援団体として様々な事業を通じて、赤十字活動の着実な推進に貢献できています。

さて、昨年は、国内では広島市を襲った大規模土砂災害や、岩国市、和木町での大雨災害など全国的に自然災害が頻発し、海外においても、民族や宗教に関わる紛争やテロが後を絶たず、気候変動の影響による大規模洪水や食糧危機などにより、多くの尊い命が失われました。

今日、南海トラフ大地震などの発生の懸念や災害の大規模化・頻発化の傾向がある中、日本赤十字社では、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ために、国の内外において、日々苦しんでいる人々に寄り添い、その支えとなるべく活動を続けています。

当会としましては、このような赤十字の人道的活動を支えるために引き続き、赤十字活動の普及促進と紺綬有功会員の増強、仲間づくりを進め、より一層赤十字へのサポートができればと考えております。会員の皆様方には、今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

## 日赤活動資金にご協力をお願いします！

会員の皆様！



日赤活動資金が  
年々減少しています。

平成23年度

2億9,538万3,827円

平成24年度

2億6,104万6,714円

平成25年度

2億2,398万2,126円

平成26年度  
(3月末現在)

2億265万6,281円

日赤山口県支部では、多くの県民の皆様からの社資を唯一の活動財源にして、災害被災地での救護・救援活動やいのちと健康を守る赤十字救急法・幼児安全法・防災減災講習等の各種講習普及、地域での奉仕活動などを実践する赤十字ボランティアの育成、青少年に奉仕の心や生きる力を育む青少年赤十字の推進、海外の発展途上国に対する人道的支援事業などを計画的に進めてきております。

しかしながら、近年の人口減少や少子高齢化、地域社会の変容などの社会構造等の変化やそうした中で日赤の存在感の変化、寄付先団体の増加、寄付手段の多様化などから、日赤の活動財源である社資は漸減傾向にあり、山口県支部においても平成23年度をピークに、平成26年度には約1億円の減少となっています。

いのちを守る赤十字事業への一層のご理解とご支援ご協力をお願いいたします。

# 平成26年度の主な事業

## 山口県日赤紺綬有功会総会を開催

平成26年7月30日山口市防長苑にて、平成26年度山口県日赤紺綬有功会総会を開催いたしました。総会では、平成25年度の事業報告、決算報告、平成26年度の事業計画、予算について、審議され承認されました。

また、今回は、赤十字サポーターである株式会社三宅商事の顧問であり、山口県立南陽工業高等学校野球部の監督時代に故津田恒美投手を育てられた坂本昌穂さんによる「人間のいのちを想う～津田恒美投手との出会い、そして別れ」の講演をいただきました。



## 日赤紺綬・有功会会長協議会総会に出席

平成26年10月16日、17日岐阜県高山市の「ひだホテルプラザ」にて、平成26年度日赤紺綬・有功会会長協議会総会が開催され、平岡会長、支部高木事務局長が出席しました。

総会では、平成25年度の事業・決算報告、平成26年度の収支中間報告について承認され、高山市史編纂員の田中彰さんによる「匠の国・飛騨高山一町並みと屋台」の講演も行われました。

## 日赤山口県支部への支援事業

平成26年度事業計画に基づき、日赤山口県支部への支援として、「第2回赤十字救急法競技大会参加賞（非常持ち出し品セット）」、「赤十字はがき作文・はがき絵コンクール」、「海外たすけあい」にも協力しました。

### 非常持ち出し品セット

日本赤十字社では、人間のいのちと健康を守るための救急法講習会を実施し、その知識と技術を広く県民の皆さまに知っていただく活動をしています。

山口県支部では、平成26年12月14日、講習普及事業の一環として県民の皆さまが競技を通じて日常生活における安全意識を高め、事故や災害時において相互に助け合い、行動できるようになることを目指し、「第2回赤十字救急法競技大会」を開催しました。

当会では、この大会に協賛して「非常持ち出し品セット」を102名の出場者やボランティアスタッフに配付しました。

当会の宣伝もばっちり！



### 赤十字はがき作文・はがき絵コンクール

当会と山口県支部では、昨年の「赤十字紙芝居コンクール」に続き、今年度は「赤十字はがき作文・はがき絵コンクール」を実施しました。

このコンクールは、応募作品の制作を通じて、多くの方々に「いのちの大切さ」について考えていただくとともに、入賞作品の巡回展示等を通じて、広く県民の皆様様に制作者の思いを共有・共感していただき、「いのちの大切さ」を改めて感じていただくことを目的として、実施しました。

平成26年10月14日から平成27年2月13日までの応募期間中に、はがき作文は23作品、はがき絵は165作品のご応募をいただきました。下記のとおり審査を行い、各賞が決定しました。

#### ●一次審査

山口県日赤紺綬有功会副会長、山口県内の赤十字奉仕団員、日本赤十字社山口県支部職員

#### ●二次審査

山口県日赤紺綬有功会 平岡英雄会長、山口県教育庁高校教育課 安村祥二郎指導主事、山口県教育庁義務教育課 野崎誠指導主事、日本赤十字社山口県支部 高木邦生事務局長

はがき絵部門  
【最優秀賞】

### 各賞発表

#### ①はがき作文部門

##### 【最優秀賞】

「みんなの命」周南市 尾崎詩織 様

##### 【優秀賞(2作品)】

「大切な存在」防府市 田辺今日子 様

「君が教えてくれたこと」下関市 橋田あさみ 様

##### 【アンリーデュナン賞(5作品)】

#### ②はがき絵部門

##### 【最優秀賞】

「三月末誕生予定の孫に祈りを込めて送る」

周南市 熊本裕子 様

##### 【優秀賞(2作品)】

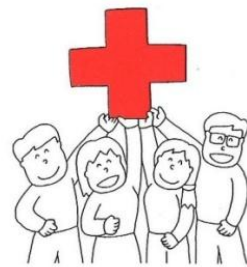
「おじいちゃんと孫」岩国市 浅田絵理奈 様

「みんな、がんばるよ～」香川県 新田憲明 様

##### 【アンリーデュナン賞(17作品)】



# 仲間づくり運動にご協力をお願いします



当会は、日赤山口県支部の活動に協力し、赤十字の人道・博愛の精神の普及とその事業の推進に協力することを目的に、活動しております。

つきましては、本年も赤十字事業を支援する輪を広げるために、社資納入の勧奨と、一人でも多くの方が有功会へ入会いただけるよう勧誘をお願いします。

## 入会しやすくなりました！～準会員制度～

当会では平成25年度から、より多くの方に当会へ加入いただけるよう、「準会員制度」を設けました。

これまでの  
加入条件

「社資功労」または「献血功労」により、日本赤十字社からの表彰である「有功章」を受章された個人・法人で当会の趣旨に賛同いただいていること

平成25年度  
から

次のとおり「準会員」と「本会員」の2通りの入会方法にしました。

準会員

当会の趣旨に賛同いただき、有功章受章につながる20万円以上の社資を今後、分割で納入していただくことについてお申し出いただいた個人・法人

本会員

これまでの加入条件により、加入していただく個人・法人

準会員であった方が、分割納入により有功章を受章され、引き続き加入いただく場合

準会員と本会員の違い

- ・加入条件(上記のとおり)
- ・当会への会費の納入や総会等への行事の参加は同じ扱いですが、準会員は当会の役員になることはできません。(準会員から本会員になると、役員に選ばれることがあります)

### (参考)～社資功労による有功章とは～

日本赤十字社へ一定額以上の社資(活動資金)を寄託いただいた場合、有功章が贈られます。

当会の入会資格である有功章の受章は、銀色有功章であれば社資の金額が20万円以上、金色有功章であれば50万円以上の金額(いずれも一時又は分割して)を納入された個人・法人が対象となっております。

**長寿のお慶びや全快祝い、金・銀婚式記念、遺贈、香典返し、法人創立記念祝賀会などの際に、ご寄付いただき、社会貢献される事例**もあり、これらも20万円以上の場合は、有功章が贈られます。

なお、日赤への社資に対しては、税制上の優遇措置があります。



## ご入会ありがとうございます！！

平成26年度に、1名と12法人が加入されました！  
会員数は平成27年3月現在で89名です。  
これからも仲間づくり運動にご協力をお願いします。

# 支部便り

平成26年度に山口県支部で行った主な事業を紹介します。これらの事業は、有功会員様をはじめ、県民の皆様から寄せられた活動資金によって行っています。

## 平成26年8月大雨災害活動報告

平成26年8月6日に発生した「岩国市・和木町大雨災害」では、被災された方々へ毛布、緊急セット(携帯ラジオ・歯ブラシ等の日用品)、安眠セット(簡易マットレス、アイマスク等)、バスタオルの配付を行い、山口県赤十字防災奉仕団、岩国災害救護奉仕団、山口県青年赤十字奉仕団等のボランティアにより、災害ボランティアセンターの運営支援や、被災家屋からの土砂の撤去や家屋の清掃等を行いました。

また、8月19日からの豪雨により、広島市で発生した土砂災害の際には、8月26日から日赤山口県支部救護班が被災地へ赴き、避難所を巡回し、救護活動を行いました。広島県大雨災害については、義援金を募集し、山口県支部に寄せられた義援金は、8,093,386円となり、日赤本社、広島市を通じて、全額被災者に届けられました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



救援物資を配付する職員  
(和木町)



被災者の傷の手当てを行う山口県支部救護班医師(広島市)

## ようこそ山口県へ！ラオスから高校生がやってきた！

日本赤十字社の青少年赤十字国際交流事業は、隔年で行われており、今年度、山口県支部では、10月24日～30日の間、ラオス人民民主共和国の高校生男女2名を迎え、各種交流事業を実施しました。

期間中は、県内小・中・高の青少年赤十字加盟校や大学、自治会等を訪問し、授業への参加や給食を一緒に食べるなど、各訪問先で、日本の古今の文化や伝統等に触れ、「国際理解、親善」を深めました。



山口市立仁保小学校にて、「御神楽」を体験

## 「赤十字紙芝居」&「あっぱくん」大好評！

平成26年7月、山口市の野田学園幼稚園にて、「赤十字紙芝居」の上演、心肺蘇生トレーニングキット「あっぱくん」を使った赤十字救急法を実施しました。

山口県日赤紺綬有功会の支援により、整備した紙芝居、あっぱくんは子どもたちの思いやりの心を育むため、県内各地で使用されています。



スクリーンに映る紙芝居に  
興味深々♪



小さな力で一生懸命、  
胸骨圧迫を練習

## 赤十字運動にご協力をお願いします

今年度も赤十字の活動資金となる社資を募集いたします。

自治会・町内会を通じたご協力のほか、お近くの郵便局窓口からは手数料無料でお振り込みいただけます。

(口座番号)01590-3-4076

(加入者名)日本赤十字社山口県支部

口座振替やクレジットカード決済による社資納入の方法もあります。

皆様のご理解とご協力をよろしく願いいたします。



## 寄稿のお願い

会員の皆様と共につくる会報を目指しています。会員の皆様からのご寄稿をお願いいたします。赤十字事業への思い、俳句、短歌、詩、エッセー、写真、絵などなど、ぜひお寄せください。

また、会報や当会の活動に対するご意見、ご要望などをお聞かせください。

## 発行元

山口県日赤紺綬有功会事務局  
山口市野田172番地5 TEL083-922-0102  
日本赤十字社山口県支部内